

2月22日は にゃんにゃんにゃんの日

今年もにゃんにゃんにゃんの日に楽しいイベントを行います。
当日のイベントをちょこっとだけご紹介します！

内容(予定)

- ・保護猫の譲渡会
- ・猫の正しい飼い方講習会

ふれあい猫も来るよ！

- 第2回 eスポーツ
こにゃん市長杯

などなど

場所

湖南省魅力発信拠点施設「HAT」
市民産業交流促進施設 ここぴあ など



詳しい情報は市ホームページで掲載していきます。
図書館でもイベントを行います。19ページを見てください。



問秘書広報課(東庁舎) ☎71・2300 ☎72・1467



先月22日は全国市長会の理事・評議員合同会議に出席しました。この合同会議は総会に次ぐ重要な会議で、全国の役員市長が150人ほど集まります。合同会議の前には、4つの委員会に分かれて勉強会をしたり、議案を審議したりします。私は相談役の立場で社会文教委員会に所属しています。

社会文教委員会は、厚生労働省や文部科学省の担当で、いわば市民のいのちとくらしに関する仕事を受け持っています。委員会は年4回開かれますが、通常であれば1時間半で議題が2〜3題のところ、22日の委員会では国から6題もの案件が持ち込まれ、2時間半の会議となりました。

子ども・子育て政策、地方教育政策、高齢者福祉政策、地域づくり政策、地域医療政策、予防接種行政について、それぞれ局長や審議官という官僚の責任者の皆さんが説明に来ました。

国で検討した政策が現場で役に立たなければ仕方ないので、役員市長たちからはかなり厳しい意見や提案が行われます。それでも国が市長会に説明に来るのは、自治体の意見を聞かなければ政策を市民の皆さんに届けられないからです。国と地方のパイプと言われますが、実はそれを国の側で必要とする時代となりました。

理事・評議員合同会議では総務事務次官という官僚のトップと市長たちが率直に意見交換しましたが、その前日には総務省の担当者から、国は大規模災害時に市民の命と安全を守るため、これまでにない起債を認め、これまでも多くの財政支援をしてきた。という話も直接伺いました。

22日の夕方には、全国市長会とは別の組織である教育再生首長会議の会員として首相官邸に行き、内閣総理大臣や文部科学大臣と教育政策について意見交換を行いました。

翌日早朝からは、与党である自由民主党政務調査会長を囲んで国と地方のあり方を考える意見交換も行いましたが、地方の実状を国の政策に反映することは並大抵のことではなく、引き続きいねいに取り組みます。